

1 卒業式

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。緊張した面持ちで科学技術高校に入学してから、はや3年の月日が経ちました。新型コロナの影響により、これまでにない異例の高校生活を余儀なくされ、入学後まもなく臨時休校となり、授業や部活動など当たり前感じていたことができず、インターハイをはじめ各種大会や発表の場、様々な学校行事等も中止や制約を受けるなど、悔し涙を流した人も多いことでしょう。努力を重ねた成果を発揮できず、不完全燃焼で高校生活を終える人もいるかと思えます。しかし、これまで頑張ってきたことや地道な努力の積み重ねは、決して無駄にはなりません。



チャールズ・ダーウィンの言葉（後の創作という説もあり）に次のようなものがあります。

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのではない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」

科学技術高校での3年間、いろいろなことに挑戦し、様々な変化にも対応してきたことと思えます。自信を持ち、胸を張ってそれぞれの道へ進んでください。

2 「人と比べている限り、幸せにはなれない」

最近読んだ本に書かれていた内容の一部を紹介したいと思います。

人と比較している限り、自信を持つことはできません。

なぜなら、あなたがもしもクラスで勉強が1番だったとしても、学年で見ると5番だったり、地域で模擬試験を受けたら30番だったりするでしょう。自分より勉強のできる人は、絶対どこかにいるのです。また、勉強では1番でも、自分より運動神経のいい人、自分よりカッコいい人、自分より背が高い人、自分より歌のうまい人もたくさんいます。オリンピックで金メダルをとった人でも、その種目以外ではいろいろな部分で負けているはずですよ。

人と比べている限り、自分の劣っているところが見つかるのは当然です。「なんて自分はダメな人間なんだ」と落ち込むのも当たり前です。すべてにおいて1位をとることなど不可能なのですから、人と比べている限り、絶対に幸せにはなれないのです。ですから、他人ではなく「過去の自分」をライバルにしましょう。過去の自分と比べて、成長している点、よくなっている点を見つけましょう。一か月前の自分、半年前の自分、1年前の自分と比べて、よくなっている点を見つけ、「自分は成長している!」「すごい!」と自分で誉めてあげましょう。

人と比較していたら、絶対に幸せになれない。そのことを忘れないでください。

(樺沢紫苑著『極アウトプット 「伝える力」で人生が決まる』から)

3 令和5年度入学者選抜

高校入試（令和5年度静岡県公立高等学校入学者選抜）の時期になりました。

志願票の受付が締め切られ、本校入学を目指す志願者が、学力検査や面接試験等に挑みます。新型コロナの影響を受ける中で実施する試験となりますが、安心して受検できるよう、会場準備や予防策等、様々な対応をとっています。

受検生のみなさん、くれぐれも健康管理に注意して、実力を発揮できるよう準備を整えてください。なお、本校学校HPに、受検生のみなさんの先輩である現1年生からの「受検生応援メッセージ」をアップしています。ぜひご覧ください。

合格した新入生を迎えるということは、1・2年生が進級し、それぞれ上級生や最上級生になるというわけです。新年度を好スタートで始められるよう、年度末の時間を大切にしていきたいと思います。たとえ小さなことからでも、「微差は大差」、日々実践あるのみです。